

テサロニケ

第一

①

# 証しを伴う 信仰を立てよう

テサロニケ人への手紙第一 1章 パウロの挨拶・信仰と証

# アウトライン

## 0. イントロダクション

### I. 挨拶・呼びかけ 1～7節

### II. テサロニケの人々の信仰

8～10節

### III. まとめと適用

証しを伴う

信仰を立てよう



テサロニケのホワイトタワー

## テサロニケへの手紙第一とは？

■ 著者 …使徒パウロ(書記テモテ)

■ 宛先 …テサロニケ教会

■ 執筆時期・場所

…コリント(最初の滞在中)

■ おもな目的 …教え切れなかった  
終末論の補講



## テサロニケへの教会とは？

- ギリシャ神話の神が名の由来
- マケドニア州の要衝の町  
ユダヤ人の会堂もあった
- 第二次宣教旅行でパウロが伝道  
教会が誕生
- 貧しくも信仰熱心だった  
マケドニア州にある教会の核に



## テサロニケでの伝道の顛末

- パウロ、シラス(テモテモ)で訪問
- 会堂で安息日に3回、福音を告げる  
神を畏れる異邦人や有力な婦人たちが信じる
- ユダヤ人による暴動、ヤソンの家を襲撃
- パウロとシラスは、ベレアへ。  
ベレアのユダヤ人は受け入れるが、  
テサロニケから来たユダヤ人が妨害。  
➡パウロは一人アテネへ



テサロニケの古い家の門



I. 挨拶・呼びかけ 1～7節

テサロニケの街

## 挨拶 パウロの祈り テサ1:1

パウロ、シルワノ\*、テモテ\*から、父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ。恵みと平安が\*あなたがたにありますように。

\*エルサレム出身、ローマ市民権も

\*小アジア・リステラ出身

\*パウロのすべての手紙の挨拶

■「イエス・キリストが**主**である」

➡教会の告白の中心

➡信じて恵みと平安を与えられた



テサロニケの聖パウロ教会

## 感謝 望みと忍耐 テサ1:2~3

私たちは、あなたがたのことを覚えて祈るとき、あなたがたすべてについて、いつも神に感謝しています。

私たちの父である神の御前に、あなたがたの信仰から出た働きと、愛から生まれた労苦、私たちの主イエス・キリストに対する望みに支えられた忍耐を、絶えず思い起こしているからです。

- 迫害の中で誕生し、当初から苦難を味わい、貧しさの中で主に仕え続けたテサロニケ教会  
→ 後にはエルサレムへの多額の献金も





## 確信 神の選び テサ1:4~5

神に愛されている兄弟たち。私たちは、あなたがたが神に選ばれている\*ことを知っています。

私たちの福音は、ことばだけでなく、力と聖霊と強い確信を伴って、あなたがたの間に届いた\*からです。あなたがたのところで、私たちがあなたがたのためにどのように行動していたかは、あなたがたが知っているとおります。

\*救いは、神の一方的な選びの結果

\*確かに、心から福音を信じたということ!!

➡救いは、神の計画による恵み



テサロニケの通り

## 称賛 信者の模範 テサ1:6~7

あなたがたも、多くの苦難の中で、聖霊による喜びをもってみことばを受け入れ、私たちに、そして主に倣う者になりました。

その結果、あなたがたは、マケドニアとアカイアにいるすべての信者の模範になったのです

- ① 御言葉を受け入れ(信じて救われ) = 義認
- ② 主に倣う者に変えられて行く = 聖化
- 使徒たちの教え、キリストの教えを学び従い、  
信仰の道を歩み続けた結果、模範とされた



テサロニケのホワイトタワー



## Ⅱ. テサロニケの人々の信仰

8～10節

テサロニケの町並

## 確信 伝わる信仰 テサ1:8

主のことば\*があなたがたのところから出て、マケドニアとアカイアに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰\*が、あらゆる場所に伝わっています。そのため、私たちは何も言う必要がありません。

- 主のことば\* (福音) を信じただけでなく、信仰\*が行いを通して証しされていった。

**理想的な信仰の歩みを体現!!**



## 証し 救いの証 テサ1:9

人々自身が\*私たちのことを知らせています。私たちがどのようにあなたがたに受け入れてもらったか、また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち返って\*、生けるまことの神に仕えるようになり、

\*テサロニケでの人々の回心、

教会の誕生はすでに広く知られていた。

\*テサロニケの信者は異邦人が中心



テサロニケの凱旋門

## 宣言 再臨のメシア テサ1:10

御子が天から来られる\*のを待ち望むようになったかを、知らせているのです。この御子こそ、神が死者の中からよみがえらせた方、やがて来る御怒り\*から私たちを救い出してくださるイエスです。

\*主イエスの再臨

\*大患難時代

■大患難からの救い(=携挙)が、  
テサロニケの重大なテーマの一つ





### Ⅲ. まとめと適用

証しを伴う信仰を立てよう

テサロニケの街

## テサロニケの手紙が書かれた理由を押さえておこう

- 迫害のため、数週間しか滞在できなかったパウロたち
  - メシアの再臨について、詳細を教えることができなかった
- 再臨前に亡くなった(迫害? 病気?)者は、どうなるのか?
  - 混乱と不安が生じていた
- 教会時代の原則と大患難以前に来る携挙について、補講

ゴールを知ることで、今の使命を理解し、平安を味わえる



## 救いの原則の三段階

① **福音**を信じて救われる。義と認められる。 = **義認**

② 信じ続けて、聖霊によって変えられて行く = **聖化**

③ 栄光の体を与えられ、完全な者とされる = **栄化**

■ 信じ、信じ続けるべきは、**福音**

「主イエス・キリストは、私の罪のために十字架で死なれ、  
葬られ、復活された」

## テサロニケの信者に学ぶこと

「主のことは\*があなたがたのところから出て、マケドニアとアカイアに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰が、あらゆる場所に伝わっています。テサ1:8」

①主イエスの福音\*を告げ知らせた

②信仰を証しした\*

■証しとは、信仰が、行動・変化・成長という結果として現れたもの

➔証しを言葉にするのであって、言葉だけでは証しとは言えない

## ★ 証しを伴う信仰生活を!! ★

■ テサロニケの信者は、信仰を確かに証ししていた

■ 証しは、現在進行形で求められる

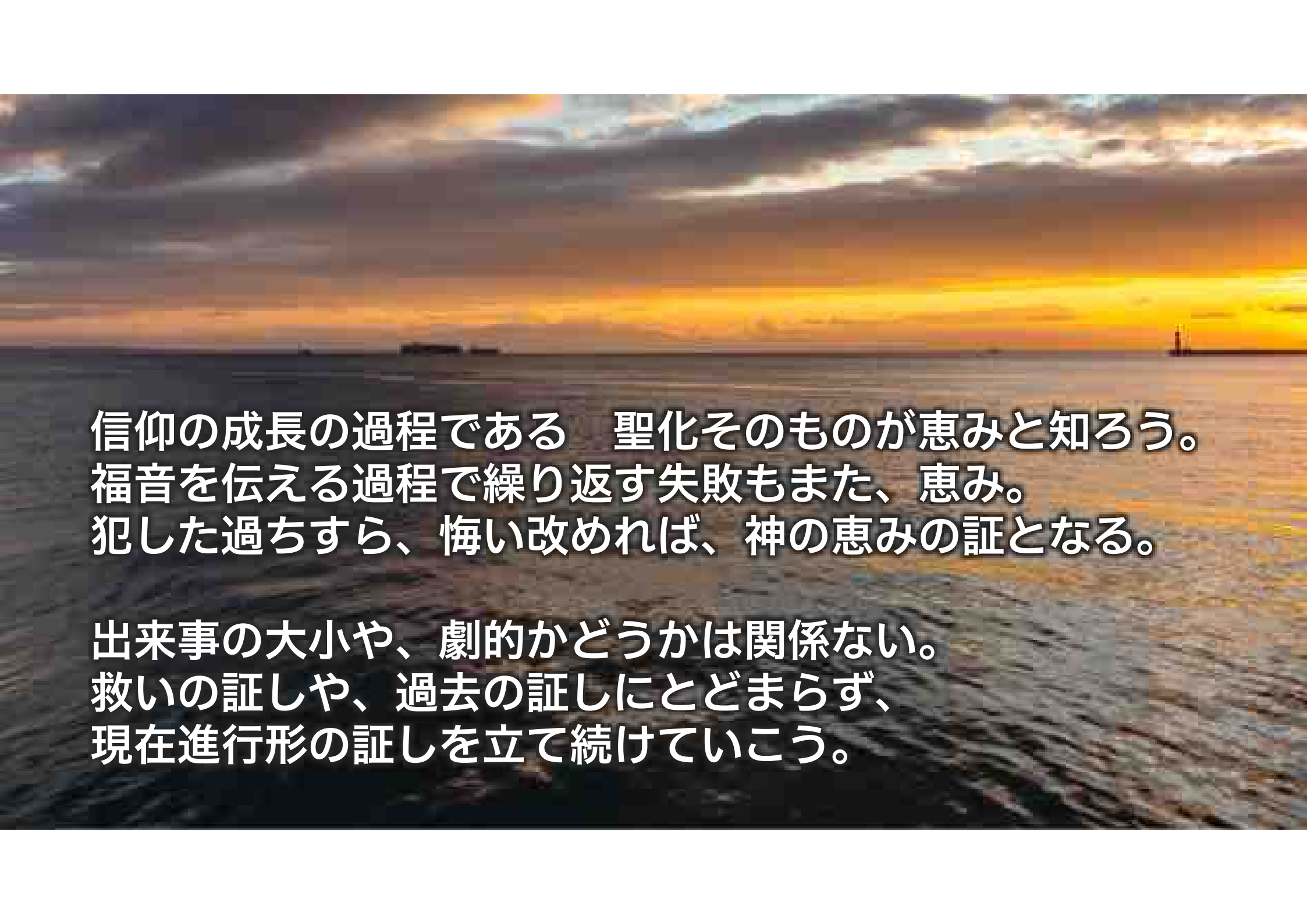
救いの証し、過去の証ししかない → 聖化の過程で成長してる？

言葉の証しだけで行いの実がない → 本当に信じてる？

例) 他者の称賛や、批判ばかりで、自分の証しがないなら？

■ 言葉だけの信仰は、主が最も嫌われる偽善、主を偽ること。

犯した罪も悔い改めて救われる。主の前に率直で誠実であろう。

A sunset over the ocean with a lighthouse on the horizon. The sky is filled with orange and yellow light, and the water is dark with some ripples. The lighthouse is a small structure on the right side of the horizon.

信仰の成長の過程である 聖化そのものが恵みと知ろう。  
福音を伝える過程で繰り返す失敗もまた、恵み。  
犯した過ちすら、悔い改めれば、神の恵みの証となる。

出来事の大小や、劇的かどうかは関係ない。  
救いの証しや、過去の証しにとどまらず、  
現在進行形の証しを立て続けていこう。

「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。  
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したことを信じます。

この救いの恵みをもって、主に従い、歩んでいきます。

道を間違えた時には、悔い改めてすぐに立ち返ることができますように。

内に住まわれる御霊に、私は満たされ、成長させられていきます。

御言葉の学びを深め、喜んで主を証し続ける者としてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」